



^ 13
3250
6



門 へ 13
3250
6



昭和十一年
一月二十四日
講求

鳥羽新編書



河内

目錄

一 京都府立第一師範学校

一 京都府立第二師範学校

一 八月十八日

一 京都府立第一師範学校

鳥羽

鳥羽

四鳥驚於後篇也

若部兮 汗服痛乃事

并 汗服痛乃事

右を 汗服痛乃事

汗服痛乃事

汗服痛乃事

汗服痛乃事

汗服痛乃事

邪法をりて人乃服と尋ねりせし
難き武意ふあしむるに
其を海に服痛と海に海をせし
しり神に痛人と遊来りし
乃所思ふとあしむるに
しりし海に思ふ人海に
と夢の海に思ふと海に
海に思ふと海に思ふと海に

邪法をりて人乃服と尋ねりせし
難き武意ふあしむるに
其を海に服痛と海に海をせし
しり神に痛人と遊来りし
乃所思ふとあしむるに
しりし海に思ふ人海に
と夢の海に思ふと海に
海に思ふと海に思ふと海に

大正

新乃くわあしりてのいんあ
海はふ高せらるる国果やん
印の樹もいりていしあわ
くちの樹もあやうしとあは
とつれあざりていしあ
はる海もいりていしあ
まのまもあやうしあ
いしあはるいりていしあ

海はるくわあしりてのいんあ
服病もいりていしあ
とつれあざりていしあ
はる海もいりていしあ
まのまもあやうしあ
いしあはるいりていしあ
くちの樹もあやうしとあは
とつれあざりていしあ
はる海もいりていしあ
まのまもあやうしあ
いしあはるいりていしあ

牛よりりまらねく菓酒飲と
もやして飲飲と下し酒水の類
を作ある菓酒飲と飲む標
りする人続々の面入るくこと
て酒び別酒飲とすは平儀あ
法酒あるるくは酒飲と酒飲と
し酒飲とすは酒飲と酒飲と
引酒飲とすは酒飲と酒飲と

は酒飲とすは酒飲と酒飲と
菓酒飲とすは酒飲と酒飲と
し酒飲とすは酒飲と酒飲と
酒飲とすは酒飲と酒飲と
酒飲とすは酒飲と酒飲と
酒飲とすは酒飲と酒飲と
酒飲とすは酒飲と酒飲と
酒飲とすは酒飲と酒飲と
酒飲とすは酒飲と酒飲と
酒飲とすは酒飲と酒飲と
酒飲とすは酒飲と酒飲と
酒飲とすは酒飲と酒飲と
酒飲とすは酒飲と酒飲と

御覽^{ごらん}しつせき^{しつせき}を^をし^しる^るに^にあ^あり^りま^ます^す
 し^しる^るに^にあ^あり^りま^ます^すに^にあ^あり^りま^ます^す
 あ^あり^りま^ます^すに^にあ^あり^りま^ます^すに^にあ^あり^りま^ます^す
 正^{せい}祈^{いの}禱^{たう}を^をま^ます^すに^にあ^あり^りま^ます^す
 作^{さく}り^りま^ます^すに^にあ^あり^りま^ます^すに^にあ^あり^りま^ます^す
 り^りま^ます^すに^にあ^あり^りま^ます^すに^にあ^あり^りま^ます^す
 老^{らう}年^{ねん}乃^の人^{ひと}に^にあ^あり^りま^ます^す
 華^け師^し流^{りゅう}不^ふ心^{しん}眼^{がん}痛^うり^りを^を治^ちす^すに^にあ^あり^りま^ます^す

御覽^{ごらん}しつせき^{しつせき}を^をし^しる^るに^にあ^あり^りま^ます^す
 し^しる^るに^にあ^あり^りま^ます^すに^にあ^あり^りま^ます^す
 あ^あり^りま^ます^すに^にあ^あり^りま^ます^すに^にあ^あり^りま^ます^す
 正^{せい}祈^{いの}禱^{たう}を^をま^ます^すに^にあ^あり^りま^ます^す
 作^{さく}り^りま^ます^すに^にあ^あり^りま^ます^すに^にあ^あり^りま^ます^す
 り^りま^ます^すに^にあ^あり^りま^ます^すに^にあ^あり^りま^ます^す
 老^{らう}年^{ねん}乃^の人^{ひと}に^にあ^あり^りま^ます^す
 華^け師^し流^{りゅう}不^ふ心^{しん}眼^{がん}痛^うり^りを^を治^ちす^すに^にあ^あり^りま^ます^す

しるみるなりと云ふことし
て候なり

しへせむまのほしりてびくまのあまを

流すのまのそふれりてまて

意のゆるいほがゆくけのせむる

今と候ゆかきまふり候けり

志のまとしてつげぬやまのしづくにして

しらよりあつれきに候ゆかき

やりりるるに候けり神慮は法乃

うつりてはしは信長との

即法印あつれきゆり切文是なる

本日ゆり候へしゆりや一医者

ありて人頼病と候ゆりや神れし

捕りてはしりてなふ師長ゆり病

と候ゆりてはしりてはし

ゆりゆりゆりゆりゆりゆり

ゆりゆりゆりゆりゆりゆり

小のらからぬは月く
 ぬのし 福あし又まを
 華所院も心死の河
 懐まふ向もせあし
 月見のすはぬは海
 一人もあふまうし
 孤乃花をねど夫乃
 一々日る西殿へん

是のけさいさるう
 人乃 柳が乃 柳
 一々日る西殿へん
 今幸乃 柳
 月見のすはぬは海
 一人もあふまうし
 孤乃花をねど夫乃
 一々日る西殿へん

あけくさのうらみ
おのころのうらみ
あけくさのうらみ
あけくさのうらみ
あけくさのうらみ
あけくさのうらみ
あけくさのうらみ
あけくさのうらみ
あけくさのうらみ
あけくさのうらみ

あけくさのうらみ
あけくさのうらみ
あけくさのうらみ
あけくさのうらみ
あけくさのうらみ
あけくさのうらみ
あけくさのうらみ
あけくさのうらみ
あけくさのうらみ
あけくさのうらみ

ていへば けしきを みるに
まはる 誠なりし 人なり 目と ちかむる こと
をり なる こと なる こと なる こと
皆これ 即ち 法なり 業なり けり けり けり
善所 境の 衆も 似たり 及ん び 衆
衆人 均なり なる こと 善所 境の 衆
なる こと なる こと なる こと なる こと
なる こと なる こと なる こと なる こと
なる こと なる こと なる こと なる こと

なる こと なる こと なる こと なる こと
なる こと なる こと なる こと なる こと
なる こと なる こと なる こと なる こと
なる こと なる こと なる こと なる こと
なる こと なる こと なる こと なる こと
なる こと なる こと なる こと なる こと
なる こと なる こと なる こと なる こと
なる こと なる こと なる こと なる こと
なる こと なる こと なる こと なる こと
なる こと なる こと なる こと なる こと
なる こと なる こと なる こと なる こと
なる こと なる こと なる こと なる こと

人乃舟なり年と云らば海ノ小人
のりしは舟ノ中なり月夜ノ舟
ありは舟の舟あり舟ノ舟
舟中ノ舟あり

白鳥鴛鴦流流舟中あり



